

□都築 毅（東北大学大学院農学研究科 食品化学分野 准教授）

### 「和食」は長寿食！？～伝統的日本食の健康機能について～

日本が長寿国となった要因として、日本独自の食文化である「日本食（和食）」の影響が大きいと考えられています。しかし、これまで日本食に特徴的な単一の食品成分に関する研究はありましたが、「日本食」まるごとを総合して検討した研究はありませんでした。そこで、「日本食」そのものの健康有益性の研究を行い、その有用性を明らかにしてきました。例えば、現在の日本食と米国食を比較することで、日本食は活発な代謝が繰り返されるため肥満になりにくいことを明らかにしました。さらに、最近の日本における食の欧米化をふまえ、様々な年代の日本食を検討し、1975年頃の日本食が代謝を活性化し、肥満になりやすく、加えて老化を遅延することを明らかにしました。本講演ではこの内容について説明いたします。

□熱海 光太郎（農業生産法人 株式会社 よつばファーム 代表）

□柳 佳代子（医療法人 KNI 北原ライフサポートクリニック東松島 作業療法士）

### 「農業」×「医療」の可能性

#### ～事例を通して、農業と医療の立場から可能性を考える～

私たちは、「医療」を「病院の中で行うもの」だけではなく、まちの中で行う総合生活産業としてとらえ、地域・住民・職場・行政一体となり、自己の生きる力の底上げとなる仕組みづくりを目指しています。その中では、「農業」も「医療」と関係のないものではなく、効果的な「医療」のフィールドになると考えています。そこには、人それぞれの生きる力（自分力）を引き出す要素が数多くあり、様々な活用の可能性を模索し始めています。

今回は実際の事例を紹介しながら、「農業」と「医療」それぞれの立場から、「農業」×「医療」の可能性について、皆様と一緒に考えていけたらと思います。

# 新しい農業のあり方を考える 「医農連携」シンポジウム

- 主 催 東北大学大学院農学研究科 東北復興農学センター準備室  
一般社団法人東松島みらいとし機構（愛称：HOPE）
- 共 催 東松島市  
HOPE「医療をツールにしたまちづくり事業会」
- 日 時 2014年1月18日（土） 16：00 受付開始 16：30～17：30
- 会 場 東松島市コミュニティセンター  
〒981-0503 宮城県東松島市矢本字大溜 1-1  
TEL：0225-82-6969
- 参加費 無料
- 座 長 中井 裕（東北大学大学院農学研究科 東北復興農学センター準備室長）

## ■プログラム

- 16：30 開会挨拶 中井 裕
- 16：35 ①「和食」は長寿食！？～伝統的日本食の健康機能について～  
・都築 毅（東北大学大学院農学研究科 食品化学分野 准教授）
- 17：00 ②「農業」×「医療」の可能性 ～事例を通して、農業と医療の立場から可能性を考える～  
・熱海 光太郎（農業生産法人 株式会社よつばファーム 代表）  
・柳 佳代子（医療法人社団 KNI 北原ライフサポートクリニック東松島 作業療法士）
- 17：25 閉会挨拶 中井 裕
- 17：30 終了予定

※本セミナーの詳細な講演資料をご希望の方は、担当者までご連絡下さい。

東北大学大学院農学研究科 東北復興農学センター準備室 担当：菊地

TEL：022-717-8934 FAX：022-717-8929 E-MAIL：haruka-k@m.tohoku.ac.jp

<http://www.nanohana-tohoku.com/hukkou3.html>